

より早期からの 包括的フレイル予防戦略

— 新概念「オーラルフレイル」から何を狙うのか —

平成28年

11/12

土

参加費
無料

申込み
不要

13:00~14:00

ホテルクレメント徳島

(徳島市寺島本町西1-61)

3F 金扇

定員250名



講師

医学博士／東京大学 高齢社会総合研究機構 教授

飯島 勝矢 先生

【いじま かつや】

- 平成 2年 東京慈恵会医科大学 卒業、千葉大学医学部附属病院 循環器内科 入局
- 平成 3年 亀田総合病院(循環器内科)、君津中央病院(循環器科)、東京都東部地域病院(循環器科)を経て
- 平成 9年 東京大学大学院医学系研究科 加齢医学講座 医員
- 平成 13年 同所属 助手 学位取得(医学博士)
- 平成 14年 米国カリフォルニア州 スタンフォード大学 医学部 循環器内科 研究員
- 平成 17年 東京大学 加齢医学講座 助手にて復職
- 平成 18年 同所属 講師 医局長、病棟医長、外来医長を歴任
- 平成 23年 東京大学 高齢社会総合研究機構(Institute of Gerontology (IOG) : ジェロントロジー) 准教授
- 平成 27年 内閣府 一億総活躍社会の実現「一億総活躍国民会議」有識者民間議員
- 平成 28年 東京大学 高齢社会総合研究機構(ジェロントロジー)教授 現在に至る

【専門分野】

老年医学、総合老年学(Gerontology : ジェロントロジー)、循環器病学
特に、①フレイル予防の臨床コホート研究および介護予防事業 ②長寿社会に向けた地域包括ケアシステム構築やまちづくり、およびその課題解決型実証研究(アクションリサーチ) ③特に在宅医療介護連携推進、およびそれに関する大学卒前教育、多職種連携教育 ④高齢者の超短期血圧変動、およびそれに対するウェアラブル血圧センサー開発 ⑤血管石灰化を基盤とする動脈「壁」硬化の分子メカニズム

【専門医・評議員・代議員・委員】

一億総活躍国民会議 民間議員 / 日本医師会 かかりつけ医機能研修制度 委員 / 東京都医師会 地域福祉委員会 副委員長 / 日本在宅ケアライアンス 有識者委員 / 東京大学歯学部在宅医療学拠点 運営委員会委員 / 日本内科学会 内科認定医 / 日本循環器学会 循環器専門医 / 日本老年医学会 代議員・老年医学専門医、高齢者医療研修認定制度小委員会委員長、在宅医療委員会委員 / 日本老年学会 幹事・将来計画委員会幹事 / 日本動脈硬化学会 評議員、動脈硬化専門医、医療保険委員会 委員 / 日本在宅医学会 評議員、研究委員会委員 / 日本抗加齢医学会 評議員 / 日本未病システム学会 未病医学認定医、理事、評議員、編集委員長 / 日本医学教育学会 地域医療・多職種連携教育委員会委員

【近著】

「老いることの意味を問い直す～フレイルに立ち向かう～」

内容

飯島先生は老年医学のご専門家と、現在「一億総活躍国民会議 (<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/ichikokusoukatsuyaku/>)」の有識者民間議員としてご活躍中と。超高齢化社会を見据えた医療のあり方について、昨今話題になっているフレイル(Frailty : 虚弱)の問題から町のあり方まで俯瞰して、ご研究を進めておられます。本講演では、日本の高齢化を取り巻く課題を踏まえて、健康長寿のために、早期から始めることができるフレイル予防についてお話をさせて頂きます。ヘルスリテラシーをアップし、楽しく健康増進活動が継続できるヒントが得られるものと存じます。多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。



連絡先

徳島大学大学院医歯薬学研究部分子医学分野
野間 隆文 TEL. 088-633-7326